

キックリン®顆粒を服用される患者さんへ

処方された分量の薬剤を
朝食、昼食、夕食の各食直前に
服用してください。

分量の目安



開始用量の580mg/回は小さじ(5cc)約1/3です。

お薬(1包にパックされた状態※)



※パックする薬の袋は薬局ごとで違います。

キックリン®顆粒は

- 慢性腎臓病患者さんの高リン血症を治療するお薬です。
- 腸の中で食物中のリンを吸着し、体内へのリン吸収を抑制します。
- 1日3回食直前に服用してください。
- 患者さんに適した量の顆粒をパックしますので、一人ひとりで顆粒の量が異なります。飲み残さないでください。
- 開封後はすみやかに服用してください。



このお薬を効果的に、また安全に服用するために、次の様な症状が現れたら、担当の医師または薬剤師にご相談ください。

- ➡ **便秘**
- ➡ **硬い便**
- ➡ **おなかの張りや痛み**

普段より体調が
すぐれないと感じたら
すぐにご相談
ください!



ご注意

腸管狭窄などの腸の病気、または腸の手術を受けたことのある患者さんは、特に注意が必要なため、服用前に医師または薬剤師にご相談ください。

血中のリン濃度が上昇すると…

カルシウムと結合して血管壁や心臓の弁などに
い しよ せい せっ かい が
沈着する、異所性石灰化を引き起こす原因になります。

石灰化により血管などが硬くなることで、
心不全や心筋梗塞の原因になります。



眼の充血や皮膚のかゆみの
原因にもなります。

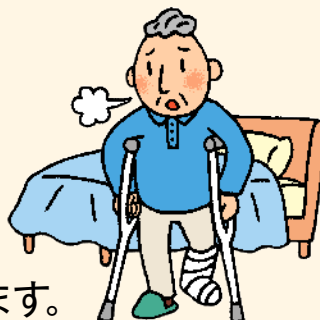
関節にたまって痛みや
動きにくい原因となります。



二次性副甲状腺機能亢進症 (SHPT) を
引き起こす原因になります。

骨より血液中にカルシウムが
はこびだされます。

骨のカルシウムが不足して
骨のゆがみや骨折を生じる原因となります。



MEMO リン濃度をコントロールするために…

上のような合併症を予防するために、慢性腎臓病患者さんの血液中のリン濃度は
適切にコントロールすること*1が望ましいとされています。リン濃度をコントロール
するためには、お薬を正しく服用することはもちろんですが、食事でするリンの量
を管理したり*2、透析患者さんでは十分な透析を受けることも大切です。

*1: 透析患者さんの目標値は3.5~6.0mg/dL、透析を受けていない慢性腎臓病患者さんの目標値は各医療機関ごとに定められています。

*2: リン摂取量の目標は、透析の有無や透析方法、体重などによって変わりますので医師、薬剤師、栄養士の指導に従ってください。

監修：秋澤 忠男 昭和大学医学部 内科学講座 腎臓内科学部門 客員教授



(17年10月印刷) KYO-KI
KIK22002A02
KIK-52 A00073